

議会だより



中土佐町

No.49

平成30年 5月25日発行

3月定例会



■一般会計予算に修正案 2

■新人議員3人全員が一般質問 5

■上ノ加江小学校5・6年生が傍聴 ... 16

今回の主な内容

- 平成30年 3月定例会
 - 議案審議 2
 - 主な議案と議員の賛否 4
 - 一般質問 5
 - 行政報告 13
- 議員の活動状況 14
- 小学生が議会を傍聴 16
- 追跡・声 17
- 地域で頑張る仲間 18

一般会計予算 7 億 6 千万円増 庁舎移転等が本格化

平成30年 中土佐町議会

3月定例会

町議会選挙後最初となる平成30年3月定例会が3月6日に開会しました。開会日には町長の行政報告、議案の提案理由説明などが行われました。

14日・15日には一般質問（P5から関連記事）が行われ、7人の議員が、町の課題について執行部の考えをたどりました。19日には議案の審議が行われ、平成30年度各会計予算など町長提出の24議案を可決。教育長に岡村光幸氏を選任することに同意し、閉会しました。

一般会計予算

「平成30年度中土佐町一般会計予算」は、前年度比7億6千万円増の77億1809万円と、過去最大の大型予算となった。



3月定例会に提出された議案書

修正動議

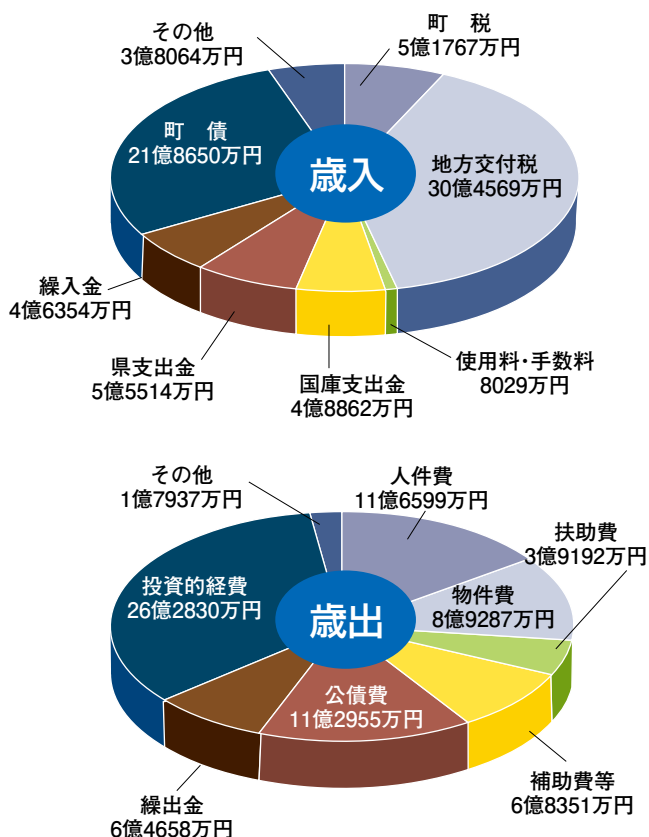
原案に対し、議員が修正の提案を行うこと。

これは、庁舎等の高台移転関連事業に、12億2千万円超（人件費・道路改修等含む）が計上されたためだ。一般会計予算に対し本井康介議員が、「道の駅なかとさ」の指定管理料を減額する修正動議を提出した。採決の結果、修正案は否決され、原案のとおり可決された。



平成30年度一般会計予算77億1809万円の使いみち

【予算の内訳】



【主な事業】

・空き家活用住宅改修工事	4012万円
・廃止路線代替バス運行費補助金	3700万円
・庁舎等移転用地整備工事	6967万円
・町道不動越4号線改修・新設工事 (庁舎等移転関連)	4966万円
・役場庁舎建設工事	10億2951万円
・あったかふれあいセンター事業委託料	3700万円
・民間施設老人保護措置委託料	5813万円
・高幡東部清掃組合負担金	1億4561万円
・園芸用ハウス整備事業費補助金	3187万円
・町道善賢寺線改良工事	3169万円
・橋りょう修繕工事	3700万円
・久礼排水ポンプ増設事業委託料	1億9100万円
・高幡消防組合分署費負担金	2億2494万円
・高幡消防組合本部費負担金	3257万円
・木造住宅耐震改修工事費補助金	4900万円
・老朽住宅等除却費補助金	3290万円
・空調機設置工事 (上ノ加江小・大野見小・久礼中・上ノ加江中・大野見中)	8963万円
・大野見体育館・竹原体育館大規模改修工事	1億1199万円

修正動議を否決

一般会計予算に対し本井議員が提出した修正動議は、「道の駅なかとさ」の指定管理料1000万円の減額し、開業1年後の実績を踏まえた積算根拠を示した後に、補正予算に計上しても良いのではないかといいものだ。

これに対し、下元道夫議員、窪田和教議員が修正案に、佐竹敏彦議員が原案に、それぞれ賛成の討論を行った。

討論の後、採決を行い賛成5、反対6で修正案は否決された。

(P4・10参照)



平成30年度に1000万円の指定管理料が支払われる(株)SEA プロジェクトが管理する「道の駅なかとさ」での、地元産品を販売する特設店も出店したスプリングフェア（3月25日）

修正案に賛成

下元道夫議員

決算が出てからで

「1000万円も町が出す」「何で」「説明してもらいたい」という疑問の声を何人もの方から聞く。

道の駅の売り上げ・人件費・その他の経費がどうなっているのか、決算が出ていないため今現在では分からない。議会として国民・町民の税金から出している1000万円は「このために使っている」と町民に説明ができない。決算が出ていないため、適切に使われているかどうかのチェックができないままの賛成は、極めて議員として無責任な行動となると考える。



道の駅なかとさ

窪田和教議員

予算の透明性を

道の駅の委託料は、総務課長は債務負担行為ではなく、単年度で予算を組むと言った。ならば支出の根拠を示さないと町民は納得できない。1年間の活動を見て私どもが納得できるような根拠がいる。

せっかく開業した道の駅だ。これを成功させたいと思うのは、町民も議会も同じだ。開業して軌道に乗るまでの一定期間、集中的な支えが必要なのも分かる。だからこそ根拠のある数字・金額を提示いただく必要がある。議会側は1000万円を否定するわけではない。(修正案)提案者が言うように、1年間の経営状況が分かった段階での予算の執行であれば十分納得できる。予算の透明性という観点からもうこうあるべきだ。

債務負担行為

事業が複数年度にわたる場合、将来の支出額を定める行為。

原案に賛成

佐竹敏彦議員

地産外商への投資だ

いろいろな意見があった中で、ようやく形ができた。3月4日には来場者が25万人を超え、売上額2億7000万円を達成した。雇用者も70人だ。一大産業ができた。中土佐町のGDP160億円にプラス2億7000万円だ。これから町経済をどう誘導し、イニシアチブをとっていくかという試金石ではないか。

1000万円を投資して2億7000万円を稼ぐ。すばらしいことじゃないか。これを否決することによって、事業をしている人たちがどういう気持ちになるか。1000万円ですら「頑張ってるやろうじゃないか」「町も助けてくれる」「よし、やっつけていこう」といった気持ちで働き、「頑張ってるやっつけていこう」と。地産外商という中土佐町の大きな課題を一つ一つ実現していくといった意味での投資ではないか。

私は、賛成・反対 しました。

《3月定例会の主な議案と議員の賛否》

○・・・賛成 ●・・・反対 /・・・議長

審議した議案等	議員名	黒原 昭一	山本 建生	山下世仁子	岡 伊三男	本井 康介	松下 裕之	下元 道夫	佐竹 敏彦	窪田 和教	高橋 雄造	福永 守恭	中城 重則	可否
町道の路線の認定、変更及び一部廃止 ※「寺野線(大野見)」を認定し、「馬鞍線(矢井賀)」を変更し、「立石線(久礼)」の一部を廃止するもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
過疎地域自立促進計画の変更 ※平成28年作成の計画を変更するもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
都市公園条例の一部改正 ※上位法令の改正に対応するためのもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
国民健康保険税条例の一部改正 ※上位法令の改正に対応するためのもの(税率の見直し、税方式の改正等)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
一般職の職員の旅費に関する条例の一部改正 ※県外出張等に要する旅費の支給方法の取り扱いを改めるもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
嘱託職員の任用及び勤務条件等に関する条例の一部改正 ※「介護予防支援員」の職名を追加するもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
国民健康保険条例の一部改正 ※平成30年度の国保制度改革に対応するためのもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
保健福祉に関する諸計画策定のための委員会設置条例の一部改正 ※「障害児福祉計画」の策定を追加するもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
介護保険条例の一部改正 ※介護保険料を見直すもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例 ※上位法令の改正に対応するためのもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部改正 ※上位法令の改正に対応するためのもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
後期高齢者医療に関する条例の一部改正 ※被保険者の住所地特例の規定が見直されることに対応するためのもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
町立保育所設置条例の一部改正条例 ※大北保育所および双名保育所を廃止するもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
文化財保存事業等分担金徴収条例の廃止条例 ※文化的景観保護推進事業国庫補助の変更に対応するためのもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成29年度一般会計補正予算(第6号) ※645万円を増額し、歳入歳出予算をそれぞれ70億5895万円とするもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成29年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号) ※1899万円を増額し、歳入歳出予算をそれぞれ13億1721万円とするもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成29年度介護保険特別会計補正予算(第4号) ※37万円を増額し、歳入歳出予算をそれぞれ13億1351万円とするもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成30年度一般会計予算 ※歳入歳出予算をそれぞれ77億1809万円とするもの		○	●	○	○	●	○	●	○	●	○	●	○	可決
平成30年度一般会計予算に対する修正動議 ※「道の駅なかとさ」の指定管理料を減額するもの		●	○	●	●	○	●	○	●	○	●	○	○	否決
平成30年度国民健康保険特別会計予算 ※歳入歳出予算をそれぞれ10億1588万円とするもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成30年度住宅新築資金等貸付事業特別会計予算 ※歳入歳出予算をそれぞれ231万円とするもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成30年度農業集落排水事業特別会計予算 ※歳入歳出予算をそれぞれ6365万円とするもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成30年度介護保険特別会計予算 ※歳入歳出予算をそれぞれ14億2108万円とするもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成30年度後期高齢者医療特別会計予算 ※歳入歳出予算をそれぞれ1億2247万円とするもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成30年度簡易水道事業会計予算 ※収益的収支の収益、費用をそれぞれ1億4085万円とするもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
教育委員会教育長の選任(岡村光幸さん) ※任期3年		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

一般質問

～所信を問う～



下元 道夫 ……P 6
 ■ 鯉乃國水産の運営は
 ■ 早期米のブランド化支援を



佐竹 敏彦 ……P 7
 ■ 太陽光発電で中国資本の進出は
 ■ 消防団員の待遇改善を



山本 建生 ……P 8
 ■ 職員採用は地元優先を
 ■ 人権啓発センターは地域の実態把握を



窪田 和教 ……P 9
 ■ 国保税の子どもの均等割減免を
 ■ 薪ストーブの普及を



本井 康介 ……P10
 ■ 今期4年の抱負は
 ■ 公共施設等移転の進捗は



高橋 雄造 ……P11
 ■ 「道の駅なかとさ」の外国人の避難誘導は
 ■ 島ノ川溪谷の整備は



福永 守恭 ……P12
 ■ 今期4年の考えは
 ■ 「道の駅なかとさ」はイベントで情報発信を

3月14・15日の2日間、一般質問が行われました。
 一般質問では、新人議員3人を含め7人の議員が、
 4期目を迎えた町長の抱負や職員採用問題、そして、
 外国人の避難誘導等、町の重要課題について、執行
 部の考えをたどりました。



下元 道夫

鯉乃國水産の運営は

スラリーアイス 活用は今までどおり

問 鯉乃國水産の運営体制を
変更する理由、漁協・漁業関係者・鯉乃國水産
従事者との協議は。

多田水産商工課長 (株)シー
プロジェクトに運営が移
る方が、販売促進・商品

開発の強化が可能になる。漁協・漁業関係者とは協議していない。鯉乃國水産従事者とは昨年度より協議を重ねてきた。

スラリーアイスは

問 釣り上げてすぐにスラリーアイスに漬け込む「びんぴ鯉」。水揚げ直後に漬け込む「上々鯉」。そして、加工・販売・発送におけるスラリーの活用。このことは、運営体

制が変わってもやっていくのか。

多田水産商工課長 スラリーアイスの活用方法は、これまでどおり鮮度保持に有効な特性を生かして、今後も継続していく。

問 平成23年8月30日、カツオ一本釣り船主、漁協役員、役場、高知工科大、地域振興公社の5者が話し合いをした。そして、「よし、スラリーの有効

性は分かった。すぐには金儲けにはならんかもしれないが、自分のために、町のために、そして我が子のためにやる」という力強い漁師の言葉をいただいた。この信頼関係が大事と思うが、合わせて新体制の人員体制は。

多田水産商工課長 漁業関係者との協議は重要と思っている。新体制については、強化を図るようにしたい。



3月20日、今年初めての1トンを超える初カツオの水揚げ

コメは赤字だ！

早期米ブランド化支援を

最大限支援していく

問 早期米のブランド化支援を聞く。現在、30^{キロ}で

1等米価格は、平成25年6250円、平成26年4850円、平成29年は6672円だ。せめて、8000円で販売できないか。

問 道の駅の水産、農業の実出荷者数並びに売上高は。

道の駅と産業振興は

下元企画課長 2月時点の農産物の町内登録者数は61人で出荷者は36人。水産物の登録者数30人。うち漁業者の出荷者数7人

横本農林課長 栽培方法の差別化が必要だ。農業振興センターには営農に詳しい方がいるので最大限支援をさせていただく。

農産物の昨年7月の売り上げは154万円。今年2月は164万円。水産物は昨年7月が308万円、今年2月は173万円となっている。



早期米の田植え (3月30日)

太陽光発電で

中国資本の進出は

本町での情報はない

問 太陽光発電に名を借りて、中国資本に北海道や沖縄、対馬列島など日本が相当買収されている。

町の太陽光発電の箇所数は。所有は日本人か。有効な手立ては。

水源地も同様のことが起こっているが。

山本町民環境課長 太陽光発電施設は、久礼楠の川1、川崎2、中大坂1、上ノ加江網代1の5カ所だ。中国系資本の情報は現在ない。

水源地は安倍首相も国

家安全保障上の重要な課題と認識している。国の動向など踏まえ必要な対策を検討する。



大北地区(久礼)に設置されているソーラーパネル



消防団員の待遇改善を

応援の店 公・民施設に声掛け

問 消防団員は、24時間365日常に非常呼集(されるかもわからない状態)にあり、家族を含め心理的負担は大きい。団員の充足にも、黒潮本陣や道の駅など公の施設から消防団員応援の店の制度化を図るなど、福利厚生等総合的な待遇改善の取り組みが必要では。

平田総務課長 負担軽減の意味でも待遇改善は重要で検討していきたい。消防団応援の店は、高知県消防協会で制度化し

ている。

高幡広域では須崎市と津野町でガソリンスタンドと自動車整備工場の3件が登録している。本町は現段階では未登録だ。公の施設や民間施設に声をかけながら願うような形になる。

集落活動センター

地域の課題やニーズに住民が主体となって取り組む仕組み

上ノ加江公民館に集落活動センターを

問 上ノ加江の地域振興の戦略的要として、集落活動センターを改築する公民館に設置してはどうか。

池田町長 集落活動センター立ち上げの動きもあると聞く。有志が一步を踏み出し、いろんな形で地域の賛同を得、町がバックアップする形が望まれる。



月1回行われる陸間(りっこう)・水門等の点検



山本 建生

職員採用は地元優先を

今までどおりの方針で

問 町職員採用試験を聞く。

平田総務課長 1次試験は

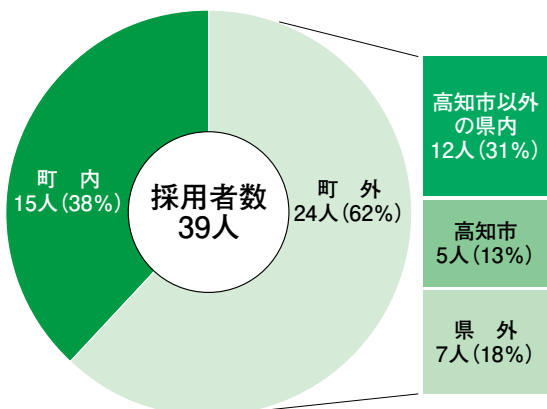
教養試験と事務適性検査の合計点で合格者を決める。2次試験は面接と作文で決める。1次試験は高卒と大卒は同じ試験だ。2次試験では町三役（町長・副町長・教育長）と有識者3名で面接を行い決定する。合格者決定までの議事録は残していない。面接官の氏名も公にしない。

問 池田町政12年間の合格者は、保育士を除き39人。地元採用が15人で地元以外採用者が24人だ。

地元を優先すべきという町民の声をどう考えるか。

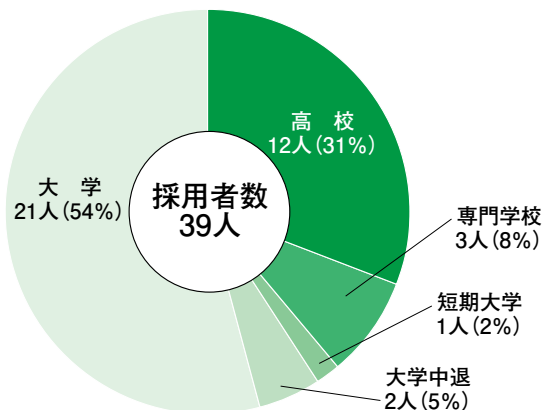
出身地別採用者の状況（平成19年～平成30年）

※保育士13人を除く



学歴別採用者の状況（平成19年～平成30年）

※保育士13人を除く



職員は町内に居住を

問 募集要項には「合格したら町内に住むこと」とあるが。

平田総務課長 個々の事情により全員は町内に住んでいない。

池田町長 町内から採用したいと思うが1次試験に通らない。町内出身者が町内をつぶさに知っているとは限らない。町外から来た職員でも町内各地を回り町民・地域のことを理解している者もいる。

問 地域コミュニティの崩壊、地域力の低下が言われる。町内に住むことが義務ではなく、地域社会の維持継続に役職職員が役割を果たせないことに疑問を感じる。

苦勞して子どもを大学まで行かしても「役場に入れない」という町民の気持ち。町外から採用するより地元で育てることが必要ではないか。

池田町長 今までの方針でこれからもやっていく。

地域の実態把握を

人権啓発センター

新たな体制を作らないと

竹邑教育次長 把握していない。

問 啓発センターが対象地域や周辺地域の実態に触れていないことを町長はどう思うか。

池田町長 孤独死のことは初めて知った。新たな体制をつくらなくてはと思う。

問 部落問題解決のため交流や共同作業が必要ではないか。啓発センターが周辺地域に山積する課題に取り組むことは啓発面でも効果があると思うが。

中城教育長 交流拡大や共同作業は啓発的な効果も高いと考えている。

問 人権啓発センターの設立目的、業務内容を聞く。

竹邑教育次長 同和対策事業の中で昭和52年に総合解放センターとして設立した。周辺地域との連携が目的だ。業務内容は隣保館児童館業務と研修宿泊施設業務だ。

問 対象地域の孤独死、多重苦などを把握しているか。



小鎌田の海岸沿いに建つ人権啓発センター



窪田和教

池田町長 均等割の廃止は全国知事会でもそうした
問 国保の子どもの均等割は少子化対策に逆行するとの考えから減免する自治体がある。本町も減免する考えはないか。

国民健康保険税

子どもの均等割減免を

地方6団体の要望として

国保税計算の仕組み (平成30年度から)

基礎分

所得割	課税標準額 ×	7.35%
均等割	被保険者1人につき	22,000円
平等割	1世帯につき	21,000円

後期高齢者支援金分

所得割	課税標準額 ×	2.22%
均等割	被保険者1人につき	9,000円
平等割	1世帯につき	6,000円

国保税の計算では、世帯の構成員全員に「均等割」がかけられます。収入のない子どもにも「均等割」分がかかります。子どもの数が多いほど税が高くなります。

※介護分は40歳以上の支払いのため省略。

地方6団体
地方公共団体の首長の連合組織である全国知事会・全国市長会・全国町村会の執行3団体と、地方議会の議長の連合組織である全国都道府県議会議長会・全国市議会議長会・全国町村議会議長会の議会3団体を合わせた6団体。

動きがある。しかし、直ちに廃止は考えにくい。おっしゃられる意味はよく理解しており、今後（地方）6団体の一つの要望としても、また中土佐町としても検討していく。

薪ストーブの普及を

山の手入れ・

薪の需要拡大に

問 薪ストーブや薪風呂は、山林の未利用資源の活用や再生可能エネルギーの利用という面がある。薪ストーブ設置補助を望む声は多い。

榎本農林課長 佐川町では助成があり年間5件程度の申請があると聞いている。町内でも相当の需要があると思われる。東日

本大震災ではストーブが活躍した。いろいろな課題を踏まえ検討する。

問 県もエネルギーの地産地消、広葉樹や雑木の「薪ビジネス」に関心を示している。県の対応を見守るだけでなく要望の多いストーブへの助成や薪ビジネスへ積極的に動くべきだ。

榎本農林課長 薪ストーブへの補助は山の手入れや薪の需要を拡大し、新たなビジネスにつながる。前向きに支援を考えていきたい。

町民との対話を

問 町長選挙が無投票だっただけに町民との対話を行い、ご意見やご要望に

真摯に 耳を傾ける必要がある。町民との意思の疎通をはかる決意を聞く。

池田町長 いろいろな時間を利用して地域を回る中で、直接皆さんのお声を聴くことも非常に重要だと感じている。できるだけそうした機会を増やしながら、町民の生の声をしっかりと受け止めていく。

税の申告会場が減少

問 税の申告会場が平成28年度から9カ所が3カ所に減った（中土佐庁舎と大野見庁舎を除く）。マイナンバー運用上からの措置と聞く。不便を感じ

る人がいる。納税者に寄り添う姿勢を示すことが必要ではないか。

井口税務課長 マイナンバー法の関係で3会場になった経緯がある。この点は皆さんにはご理解を賜りたい。
税務課では1年を通して相談を受けている。直接役場においてになるか、電話等で相談いただければ対応させていただく。気軽に利用してほしい。



個人宅に設置されている薪ストーブ



本井 康介

今期4年の抱負は

庁舎等移転を任期中に

問 無投票4選の感想は。また、今期4年間の抱負は。

池田町長 任期4年をいただいた。責任の重さを痛切に感じている。初心に返って町政を見直す。今進めている庁舎等の移転問題を任期中に完成

していく。一刻の猶予もならないという状況で、平成32年度中に全てを完了したい。

問 副町長再任の思いは。

三本副町長 町長を補佐し、今期の重点施策に職員とともに全力で関わる。引き続き人材育成にも努めていく。



町長の今期4年の重点施策でもある庁舎等の移転事業の完成予想図

公共施設等移転の進捗は

事業費ベースで26%

問 公共施設移転等の現在の進捗率は。

下元企画課長 事業費が61億円に対し、現在までの実績と契約額（完了前）の合計で16億円だ。進捗率は26%だ。

高台への平地の確保は

問 高台への平地の確保の計画はまだできていないのか。それとも計画しないのか。

平田総務課長 大変重要なことだ。国の制度では被災時に活用するための造成工事になると財源が難しい。高台に何らかの施設を整備することで、事業実施の実現が可能か模索しているところだ。

池田町長 今ある大野グラウンドの拡張を求める声も多い。トータルで考えて現在のところ大野で計画しているところだ。



平成32年度末の完成を目指し工事が進む公共施設移転等事業

「道の駅」指定管理料は

問 (株)シープロジェクトに対する指定管理料（1000万円）の財源内訳は。

下元企画課長 地方創生推進交付金2分の1、ふるさと応援基金2分の1だ。

問 指定管理料の積算根拠を聞く。

下元企画課長 資料のとお

りだ。年度協定に基づき1000万円を支払うということだ。

問 指定管理料1000万円を5年間毎年拠出する計画に変更はないか。

下元企画課長 拠出期間5年間の変更はない。

（P3参照）

「道の駅なかとさ」

外国人の避難誘導は

絵文字で表示する

問 今後、道の駅を訪れる外国人は町の大型客船ツアー計画等により増える予想される。しかし、避難誘導の掲示板は日本語と英語のみで表示されている。多言語での表示と外国人に対するスタッフへの教育は。

自家発電機は

問 災害時に使用する高性能の自家発電機は現在町内3カ所に設置されている。今後の配置数・場所（地区）は。

下元企画課長 町内の集う場所も含め、防災担当者とともに、今後協議していく。



道の駅の従業員を対象とした避難訓練（3月13日）

平田総務課長 現在、久礼小学校・上ノ加江小学校・榎野々集会所の3カ所に整備している。平成30年度は、笹場小学校・寺野体育館・大野見中学校体育館・大野見喜田地区集会所に整備する。

今後は避難所運営マニュアル等を作成した避難所などを中心に整備していく。

島ノ川溪谷の整備は

町の宝として守る

電話回線は

問 島ノ川溪谷を訪れる方々の安全確保のための電話回線は。

下元企画課長 平成30年度予算で電話ボックス的なものを、溪谷に2カ所設置予定だ。携帯電話（への対応）は、今のところ考えられない。

維持管理への助成は

問 溪谷の自然環境を維持

するために必要な経費への助成は。

榎本農林課長 平成12年から5年間、3600本余りのモミジ等を植樹した。近年のウォーキングイベントは、県の森林環境税を原資とした「こうち山の日支援事業」を活用している。2年前から行っているミツマタの植樹は、「緑の募金」の補助を受けている。イベントのスタッフの活動等へは補助を充てられないが、何らかの補助を受けられるよう今後考えていきたい。

道路舗装は

問 島ノ川溪谷の道路舗装は。

榎本農林課長 未舗装部分は、四十万十森林管理署の管理区間だ。木材搬出に支障がなく、舗装の予定はないとのことだ。将来を見据え、要望を上げたい。

町長の思いは

問 町長の島ノ川溪谷に対する思いとビジョンは。

池田町長 島ノ川の林産物をはじめ、その景観等を、町の宝として守っていく。



伐採跡へのミツマタの植樹



今期4年の考えは

希望と誇りを持てるよう

問 町長の4期目の町政に対する考えを聞く。

池田町長 懸案事項は庁舎等の移転問題だ。合併特例債の期限の平成32度中

に全てを完了させる必要がある。合併して13年目に入っ

ているが一体感の醸成は一朝一夕には進まない。住民の皆さんと対話しながら、各地域が希望を持ち誇りの持てるまちづくりを協働で進めたい。

矢井賀ヘリポートは

問 矢井賀ヘリポートの進捗状況は。

平田総務課長 矢井賀地区での災害時の孤立対策、日常の救急搬送等、ヘリ

ポートの重要性は認識している。再度、立地条件を整理し直す。今後は、増加傾向にある救急搬送を念頭に、浸水予想範囲内外を問わず地域と協議し、整備に向けた候補地の選定を行っていききたい。

「道の駅なかとさ」 イベントで情報発信を 旬の産品にスポットを当て

問 「道の駅」や地産外商の年間を通じた旬のイベント・情報発信の計画を

聞く。

下元企画課長 3月25日の日曜日にスプリングフェアのイベントを企画している。開業1周年の大きなイベントだけでなく、旬の産品にスポットを当てた大小の企画を行い、中土佐町の産品や観光スポットのPRに努める。

池田町長 駅長は現在のところ、「道の駅」を円滑に運営していくことが責務であり、今後、地産外商マネージャーという立場で町内の一次産品の売り出しも含めて進めていくように指導していく。



「道の駅」で開催されたスプリングフェアでのドッグショー（3月25日）



大野見南地区のヘリポートに着陸するドクターヘリ

介護保険料基準額が6680円に

池田町長の行政報告

4期目の町政運営の基本方針

- ①誇りの持てるまちづくり
 - ②ともに助け合い、必ず助かる街づくり
 - ③水産業、農業の振興、若者定住、移住促進
 - ④質の高い教育環境
 - ⑤「仮称・子どもセンター」の設置検討
 - ⑥健全な財政運営
- 以上の実現に向け取り組む。

平成30年度予算編成

一般会計当初予算は、歳入歳出総額が77億1809万円となった。過去最大の予算編成となっている。

公共事業移転等事業

おおむね計画どおり進んでいる。

SEAプロジェクト事業

3月4日、年間来場者の目標25万人を突破。全店舗の売上高も2月中旬に、年間目標金額の2億5800万円を突破した。

南海トラフ地震対策

自主防災会連絡協議会が広島市の豪雨災害の現地視察研修を実施。住宅の耐震化工事も2月末までに59件の申請を受け付けた。

国民健康保険税の改正

本年4月から国保の都道府県域化が予定され、運営主体が大きく変わる。これに伴い、今議会に国保税率の改正案を上程している。

高齢者保健福祉計画並びに介護保険事業計画

平成30年度からの第1号被保険者の介護保険料基準額は、340円増の6680円となる。

第29回かつお祭

今年の「かつお祭」は、例年どおり、ふるさと海岸で行う。

議会は、どなたでも傍聴できます。

6月定例会日程（予定）

- 6月13日（水） 行政報告・委員長報告
議案の提案理由説明 他
- 6月18日（月） 一般質問
- 6月19日（火） 一般質問
- 6月21日（木） 議案等の採決 他

※日程は、変更になることがありますので、ご注意ください。

スマホ・パソコンで議会を

スマートフォンやパソコンで本会議の様子が視聴できます。生中継だけでなく平成28年以降の過去の映像もご覧いただけます。

中土佐町のホームページから議会のページに進みご覧ください。



会議録をご覧ください。

インターネット中継映像及び音声は公式記録ではありません。また「議会だより」は発言の概要のみを掲載しています。公式記録は会議録をご覧ください。

会議録は、中土佐町のホームページ及び議会事務局で閲覧いただけます。

議会に対するご意見 などを募集しています。

ご意見や感想など500字以内で、郵送でご投稿ください。

投稿先

〒789-1301
中土佐町久礼 6602 番地 2
中土佐町議会事務局

A 私たちは、こんなことをしています。

《各議員の出欠状況(平成30年2月5日～平成30年3月31日)》

議 員 名		黒原昭一	山本建生	山下世仁子	岡伊三男	本井康介	松下裕之	下元道夫	佐竹敏彦	窪田和教	高橋雄造	福永守泰	中城重則
日付・会議等													
2月8日	第1回臨時会（中土佐庁舎）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会広報常任委員会（中土佐庁舎）	/	○	/	/	/	/	○	/	○	○	/	/
2月28日	議会運営委員会（中土佐庁舎）	○	/	/	/	○	/	○	○	/	/	/	○
3月6日	3月定例会＜1日目＞（中土佐庁舎）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会（中土佐庁舎）	○	○	○	△	○	○	△	○	○	○	○	○
3月8日	全員協議会＜予算精査＞（中土佐庁舎）	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会（中土佐庁舎）	○	/	/	/	○	/	○	○	/	/	/	○
	総務常任委員会（中土佐庁舎）	○	/	○	/	/	○	/	/	○	/	/	○
	産業建設常任委員会（中土佐庁舎）	/	/	/	○	○	/	○	○	/	○	/	/
3月9日	全員協議会＜予算精査＞（中土佐庁舎）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教育民生常任委員会（中土佐庁舎）	/	○	○	/	○	/	/	○	/	/	○	/
	議会広報常任委員会（中土佐庁舎）	/	○	/	/	/	/	○	/	○	○	/	/
3月14日	3月定例会＜2日目＞（中土佐庁舎）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月15日	3月定例会＜3日目＞（中土佐庁舎）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月19日	3月定例会＜4日目＞（中土佐庁舎）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会（中土佐庁舎）	○	/	/	/	○	/	○	○	/	/	/	○
3月23日	議会運営委員会（中土佐庁舎）	○	/	/	/	○	/	○	○	/	/	/	○
3月26日	議会広報常任委員会（中土佐庁舎）	/	○	/	/	/	/	○	/	○	○	/	/
3月30日	議会広報常任委員会（中土佐庁舎）	/	○	/	/	/	/	○	/	○	○	/	/

○・・・出席

●・・・欠席

△・・・一部欠席

/・・・所属委員等でない

※ここでは本会議、委員会、議会の議決による派遣、その他議長が参加・出席を要請した活動のみを掲載しています。

Q 議員は何をしゅうが？

《議長の主な活動状況（平成30年2月5日～平成30年3月31日）》

● 2月

- 14日 高幡消防組合との打合せ（中土佐庁舎）
- 19日 高幡東部清掃組合議会臨時会【議長・議選組合委員】（高幡東部清掃組合）
- 21日 津野町・栲原町へ就任あいさつ【正副議長】
高幡広域市町村圏事務組合との打合せ（中土佐庁舎）
- 22日 第35回高幡町村議会議長会臨時総会（高知市／高知県自治会館）
高知県町村議会議長会第69回定期総会（高知市／高知県自治会館）
高知県町村長・町村議会議長大会（ザクラウンパレス新阪急高知）
- 27日 津野山養護老人ホーム組合定例会（須崎市／道の駅かわうその里須崎）
高陵特別養護老人ホーム組合定例会（須崎市／道の駅かわうその里須崎）
高幡障害者支援施設組合定例会（須崎市／道の駅かわうその里須崎）
高幡消防組合定例会（須崎市／道の駅かわうその里須崎）
高幡広域市町村圏事務組合定例会（須崎市／道の駅かわうその里須崎）

● 3月

- 13日 久礼中学校卒業式（久礼中学校）
大野見中学校卒業式【（代理）副議長】（大野見中学校）
上ノ加江中学校卒業式【（代理）教育民生常任委員長】（上ノ加江中学校）
- 16日 高知県自衛隊入隊・入校激励会（高知市／三翠園）
- 22日 久礼小学校卒業式（久礼小学校）
上ノ加江小学校卒業式【（代理）教育民生常任委員長】（上ノ加江小学校）
- 23日 大野見小学校卒業式【（代理）副議長】（大野見小学校）
高幡西部特別養護老人ホーム組合議会【議長・議選組合議員】（四万十町役場西庁舎）
- 24日 久礼保育所卒園式（久礼保育所）
大野見保育所卒園式【（代理）副議長】（大野見保育所）
上ノ加江保育所卒園式【（代理）教育民生常任委員長】（上ノ加江保育所）
- 27日 高幡東部清掃組合議会定例会【議長・議選組合議員】（高幡東部清掃組合）



2月22日に開催された高知県町村議会議長会第69回定期総会（上）
と高知県町村長・町村議会議長大会（右）



上ノ加江小学校 5・6年生が 議会を傍聴



議会を傍聴する上ノ加江小学校5・6年生の皆さん

みんな町のために
がんばっているんだ！

水産業で、愛南町の
例を出しながら運営
体制変更のことを話
し合っていた。賛成
と反対の意見が出て、
すごかった！

みんな上手に言っていて、
否定するときも相手と言
い合いにならないように
言っていた。いろいろな
質問を子ども以外の大人
の人たちにわかりやすく
言っていた！

町のいろいろな問題を議
員の方たちと解決してい
くことがわかった。町の
問題を知ることができた
ので、おもしろかった！

町はいろいろな問題がある
んだなあと思いました。た
くさんの質問やその答えを
言っていて、どれも町のた
めなんだなあ！

みんなピリピリして
いてこわかった！

3月定例会の一般質問が行われた3月14日、上ノ加江小学
校5・6年生全員が議会の傍聴に訪れました。傍聴中は議員や
執行部の発言を聞き逃さまいと、全員が真剣な表情でメモを
取る姿が印象的でした。
議場で感じたことなどを、学校に帰って感想をまとめ、議
会に届けてくれました。

カツオの運送の仕方
を見直すことを話し
合っていた！

ピリピリしておこ
られているような感じ
がした！

みんな自分の
言いたいこと
をはっきり言
えていた！

「あーや どうなっちゃうぜよ」 追跡

今号では、下元道夫議員が平成29年6月定例会で質問した「矢井賀の津波対策」の問題を追跡しました。

【平成29年6月定例会】

問 小矢井賀、大矢井賀の（津波）浸水高は。大矢井賀の南山避難路から県道へのアクセスについて聞く。

平田総務課長 県想定で最大15・5m。到達時間は、17分ということだ。



住宅のほとんどが浸水すると予想されている小矢井賀地区（上）と県道改良によってできた馬鞍トンネル小矢井賀側の資機材倉庫の建設予定地（右）



住宅のほとんどが津波によって浸水すると予想されている。避難路から県道へのアクセスは、再度検討は可能だ。

問 矢井賀地区で240人を超す方が住んでいる。逃げ延びた後の避難所の確保について聞く。

小矢井賀地区の避難所を兼ねた資機材倉庫の設計委託を平成30年度に行う。また、大矢井賀の避難路から県道に降りる道も平成30年度に整備を行う予定である。

■その後の対応

（総務課）

選挙の時ばあしか議員を見ん！ 何でも執行部に賛成しゅう！

声

昨年度実施した議会広報アンケートの中から、町民の皆さまの「声」をご紹介します。

★選挙の時以外議員を見ることが少ない。町民の声を聞き、町民の代表という自覚を持ち、日々勉強し努力してほしい。

★採決のとき、何でも執行部に賛成している。町民の考えと違っている。反対意見が少なく、イエスマンが大部分だ。町長べったりで、仲良し会だ。茶番の議会。

1月の町議会議員選挙、そして、各種イベント等へ参加したときに、ご指摘のような「声」を、多くの町民の皆さまから頂きました。

今後は、より一層町民の皆さまに接し、多くの「声」を聴き、議会活動に生かしていきたいと思っています。

なお、議会では「議員出張懇談会」（裏表紙参照）を開催しております。ぜひ、お声掛けください。



議長から

議会と執行部との関係は「車の両輪」に例えられ、議会はその一方の輪として、チェック機能が求められています。このことから、ご指摘の「声」も踏まえ、議会内での議論を活性化し、安易な妥協はせず、議員全員が、町民の皆さまの「声」を第一に考え、行動する議会を目指します。



今年度の「議会だより」の表紙の写真は「地域で頑張る仲間」を取り上げます。

1回目は、上ノ加江廣埜神社の初午様（はつうまさま）の「太刀練り」を保存し、舞う仲間たち。

満開の桜の下、太刀打ち、虚無僧、十手、天狗らの「練り」が行く。

旧暦2月の「初午」の日に行われる上ノ加江の廣埜神社の「太刀練り」です。

今年も、「上ノ加江太刀練保存会」（出来勝久会長）の人や小・中学生ら30人が参加し、2時間にも及ぶ「太刀練り」が伝統ののっとり行われました。

宝永4年（1707年）の大津波で古い記録が失



上ノ加江太刀練保存会の出来会長

上ノ加江太刀練保存会の皆さんから

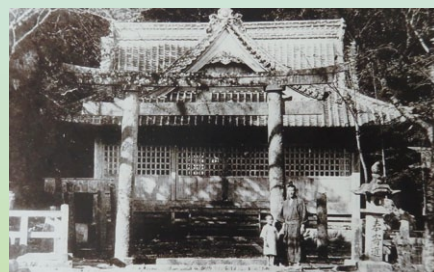
春の「練り」は漁師が舞い、秋の「花取り」は農家の人が踊る。

上ノ加江の暮らしを支えてきた漁業と農業に感謝し、地域の平穏を祈ってきた伝統文化を長く続けることができるよう町にも議会にも支援をお願いしたい。

われたため、詳しいことは分かりませんが、300年以上の伝統があることが想像できます。

平成5年に町無形文化財（民俗）に指定されていますが、今、後継者不足と祭りをを行う資金不足で存続の危機を迎えています。

「今年が最後になるかも」との心配の声も聞かれるようになっていきます。



初午様の「太刀練り」が行われる現在（左）と大正末期（右）の廣埜神社

議員がどこへでも出張する

議員出張懇談会

10人程度以上の参加が見込める団体やグループで、議員との懇談の希望があれば、町内どこへでも出張いたします。

ご希望がある場合は、お問い合わせください。

お問い合わせ先

中土佐町議会事務局 TEL52-2410 FAX52-4850
E-mail gikaijimu@town.nakatosa.lg.jp



新人議員の任期は2月5日から始まりました。ちょうど私の誕生日でもあり、「新たな気持ちでがんばれ」と言われているように思えました。

まだ2カ月しかたっていないませんが、ずいぶん長く感じられます。

3月定例会で初めての議会質問をしました。原稿を作り、誤りがないかチェックし、読み返して時間配分も考えて臨みましたが、1時間いっぱい使うことができません。早く終わってしまいました。また、執行部の答えに的確に反応することができず、反省しています。これまで、県議会をはじめ、県内の市町村議会を傍聴してきましたが、見るとやることは大違い。発言席に立つとやはり緊張するものです。

友人からは「新人やき分らんことは何でも聞いたらよい」とか、「まあ、最初は勉強のつもりでがんばれ」などのアドバイスを受けています。

広辞苑で「新人」をひくと「新たに加入した人」との説明があります。年齢のことは出ておらず、「年齢は関係ない。大事なのはやる気と行動力」と一人で納得しているところです。（4月5日 記）

中土佐町議会議員 窪田 和教

中土佐町議会広報常任委員会

委員長	下元 道夫
副委員長	窪田 和教
委員	山本 建生
委員	高橋 雄造